

ご存じですか？ 正しい出し方



最近、リチウムイオン電池が原因の事故や火災が全国で増えてるんだって。処分するとき分別を間違えると危ないのよ。

え？あの小さい電池がそんなに危険だなんて。スマホやモバイルバッテリー以外にも使われてるの？



そうなの。タブレット、デジカメ、ゲーム機や最近流行りのハンディファンまで、身近な製品にいっぱい使われてるのよ。便利だけどリスクもあるわ。

なるほど。で、処分するときは？
どうしたらいいの？

ポイント

まずは、販売店等での回収・リサイクルを優先してね。それができないときは右の正しい処分方法を確認して、処分すること。膨らんだものや液漏れなど危険なものは、環境施設課に電話してから、直接持ち込むのよ。

正しく処分しなきゃだめなのね。

そう！正しい回収や分別を守れば、事故を防ぎ、資源も有効活用できる。意識を変えるだけで安全と環境の両方を守れるってことなの。

なるほど。リチウムイオン電池を処分するときはすごく注意が必要なのね。周囲の人にも伝えるわ！

うん、そうね。
正しい情報をシェアすることも、立派な事故防止になるからね。

リチウムイオン電池は 適正な処分が必要です。

どうして分別が必要？

リチウムイオン電池は、強い衝撃が加わり破損すると発火する恐れがあります。そのため、ほかのごみに混ざって出されると、リチウムイオン電池から発火して大きな火災に繋がります。



【動画で解説】
リチウムイオン電池 発火の危険性

リチウムイオン電池が使われている具体例



見分け方 充電すれば、コンセントに繋がずに使用できるもの

正しい処分方法は？

まずは、販売店等での回収・リサイクルを優先してください。回収・リサイクル先がない場合、以下の方法で対応ください。

例) デジタルカメラ(本体とバッテリーが分かれる場合)

本体からバッテリー(リチウムイオン電池)を外す



バッテリーを取り外した本体



芦屋市指定のごみ袋に入れて
「その他燃やさないごみ」へ

リチウムイオン電池

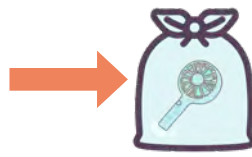


金属端子部分にテープ等で
絶縁する



「その他燃やさないごみ」の日に中身の見える袋(指定ごみ袋以外でも可)に、リチウムイオン電池だけを入れて出してください。(ほかのごみとは分けて出してください)

例) ハンディファン(本体からバッテリーを外せない場合)



「その他燃やさないごみ」の日に中身の見える袋(指定ごみ袋以外でも可)に入れて、出してください。(ほかのごみとは分けて出してください)

危険 リチウムイオン電池が膨れている・液漏れしているもの

危険



環境施設課(☎32-5391)まで事前にご連絡の上、環境処理センターへ直接持ち込んでください。

家庭ごみステーション 取り組み

問い合わせ
収集事業課 ☎22-2155

家庭ごみステーションは複数の家庭が共同でごみ出しをする場所です。
ごみの出し方やルール等を守ってお互いで協力しながら維持管理をお願いします。

ごみの出し方でカラス等の被害は
変わります！
詳しくはホームページをご確認ください。



ホームページ

家庭ごみステーションのネット等の用具や場所を変更される場合は手続きが必要です。事前に左記へご相談ください。

